

令和2年度大阪府障がい児等療育支援事業専門研修会

支援学校における児童支援と 関係者との連携について

大阪府立守口支援学校

指導教諭

リーディングスタッフ

小学部

中江 晴美

本研修の目的

- 支援学校における児童支援を知る
- 学校を含めた関係機関との連携方法を考える
など

本日の流れ

1. 大阪府立守口支援学校について
2. 本校の関係機関との連携について
3. 事例

大阪府立守口支援学校について

大阪府立守口支援学校

知的障がいのある児童生徒に
対する教育を行う支援学校

【通学区域】

小学部・中学部 ⇒ 門真市・守口市
高等部 ⇒ 守口市のみ

【通学方法】

- ・ 守口市・門真市内を7台の通学バスで送迎
- ・ 保護者の送迎
- ・ 中学部生徒 バス停～自宅間のみ自力通学OK
- ・ 高等部生徒 自力通学OK

【在籍数】 175名



大阪府立守口支援学校の特色

- 少人数・小規模をいかした、きめ細かな指導
- 地域と連携した、あたたかな教育
- 肢体不自由教育・医療的ケア
- 職業教育・生活体験学習
- 交流及び共同学習
- 地域支援



高等部 職業自立コースと生活自立コース

<職業自立コース>

将来の職業自立に向けて、職場実習と外部との連携も含めた職業教育を中心に置いた教育課程を設定

1年より**早期職業教育**に
取り組み、**就労に対する
意識・意欲**を高めながら、
企業就労及び職場定着に
結び付けている



本校の関係機関との連携について

大阪府立守口支援学校 — 関係機関との連携

支援部

校内支援
地域支援



進路指導部

福祉就労・企業就労・
就労定着・職場開拓に向けた
関係機関



自立活動部

<福祉・医療関係人材相談>
PT・OT・ST
臨床心理士

児童生徒指導部 通学指導部

通学バス
放課後等デイサービス送迎

健康安全部

医療関係

個別の教育支援計画をもとに

支援部の取組み—支援教育の充実に向けて

校内支援



地域支援

地域支援CO2名

(リーディングスタッフ)

- ・北河内ブロックCOとの連携
KITADE
(教材・教具データベース)
- ・幼小中学校等訪問相談
(守口市・門真市)
- ・研修講師
- ・各市障がい児者関係の会議出席
など

KITADE

北河内教材・教具データベース



支援部の取組み—支援教育の充実に向けて

校内支援

- ・ 大学、SSW相談
- ・ 校内支援CO各学部1名
虐待対応、不登校支援、家庭支援等
＜関係機関との連携＞

5月末連絡会

校内外ケース会議開催

家庭児童相談室 障がい福祉

保健所 計画相談事業所

放課後等デイ 療育園

子ども家庭センター 教育委員会
など

地域支援



支援の気づき（担任・CO・養護教諭・部主事）等

相談

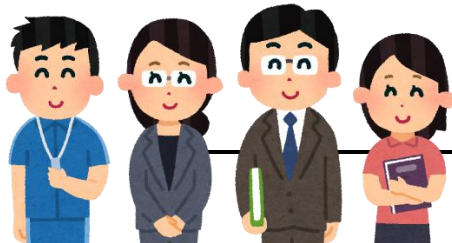
早期発見・早期支援

校内支援

各学部 校内支援コーディネーター

相談

相談



校内関係部署

チーム

校外関係機関

連携

担任（クラス会）
学年担任団（学年会）
部主事・管理職
支援部・進路等

家庭児童相談・福祉課
保健所・放デイ
計画相談事業所・学校園
子ども家庭センター等
.....

校内支援個人記録表の活用

校内支援 個人記録表				2020年度	
小・中・高	年 組	性別		手帳	
名前		誕生日			
要保護児童対策地域協議会より		虐待の程度	種別		
要保護・要支援・なし			ネグレクト 身体的虐待 心理的虐待 性的虐待 不登校 その他 ()		
障がい名・家族構成			住所		
主に本人を監護している方 ()			※番地の記載は不要		
連携機関 (担当者名)					
相談支援事業所 (計画相談)					
サービス利用状況					

市別支援連絡会 (新規 / 継続)	
担任より (本人・保護者のニーズ含む)	前年度の出席日数 (1学期 / 2学期 / 3学期 /)
関係機関より	

**個別の教育支援計画とは違って
保護者提示はしない**

	現状／対応	登校日数
4月		/
5月		/
6月		/
7月		/
4～7月		
8月		/
9月		/
10月		/
11月		/
12月		/
8～12月		
1月		/
2月		/
3月		/
1～3月		

来年度への引継ぎ内容

放課後等デイサービスとの連携



- 学校送迎時に情報交換
- ケース会議

(学校側が期待すること)

- * 放課後等デイサービスは、家まで送迎、土曜日やショートステイ利用など、学校では把握できにくい時間帯や家庭の様子情報のリソースがある
- * 取組み内容の共通理解による効果的な支援
- * 外との接点（社会との関わり） 居場所作り

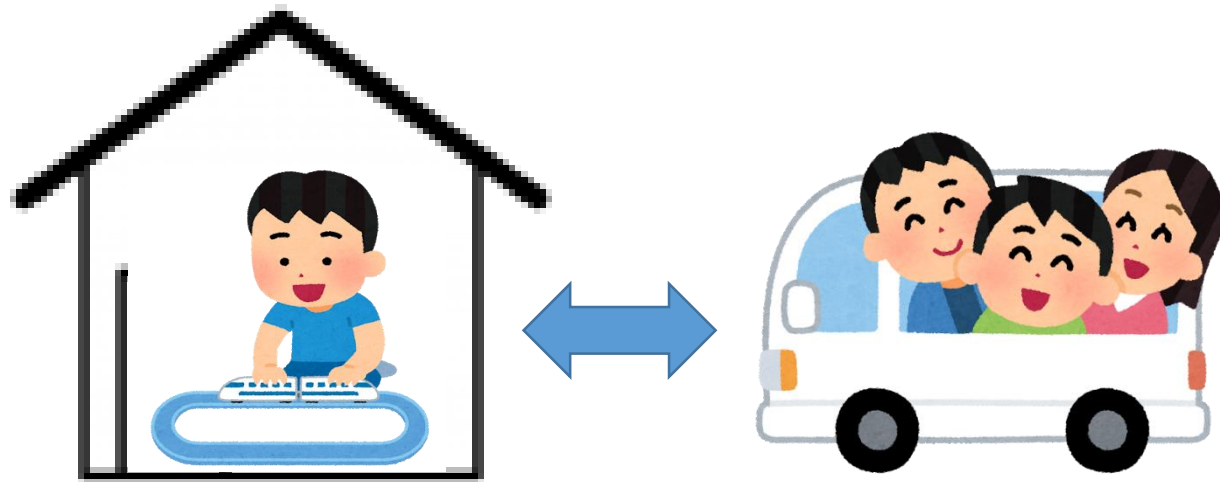
事例

事例1：高等部



- 小学校不登校→本校に中学部より入学→不登校
- 秋より放課後等デイサービス利用（不定期）
本人に寄り添った好きな時間、好きな活動
- 中2：放課後等デイサービスが学校に送迎→放課後登校開始
→週数回午後登校できるように
- 中3：放課後等デイサービスの送迎で週数回登校できるように
3学期数回通学バスで登校ができるように
- 本校高等部へ進学

事例 2 : 中学部



- 小学部転入 → 不登校気味 → 家庭訪問
行事など時々登校
欠席時：放課後等デイサービス時々利用
- 中学部入学 不登校 → 家庭訪問、行事など時々登校
放課後等デイサービス利用（不定期）
- 中3：週数回登校
放課後等デイサービス利用再開（不定期）

事例 3 : 小学部



- 幼稚園より本校に入学
- 社会性やコミュニケーションの課題
- 学習の課題
- 暴言暴力が家庭や学校で増える
- 家庭児童相談室に相談

→放課後等デイサービス利用開始

学校が見学に行く

ケース会議：放課後等デイサービス、計画相談事業所、学校

事例 3 : ケース会議

- * 顔合わせ
- * 放課後等デイサービス利用の経緯
- * 本児の状態の理解
- * 放課後等デイサービスに期待したいこと

目的：社会性等スキル獲得、集団や活動保障など

- * 学校での取組みを共有



事例 3 : 学校での取り組み

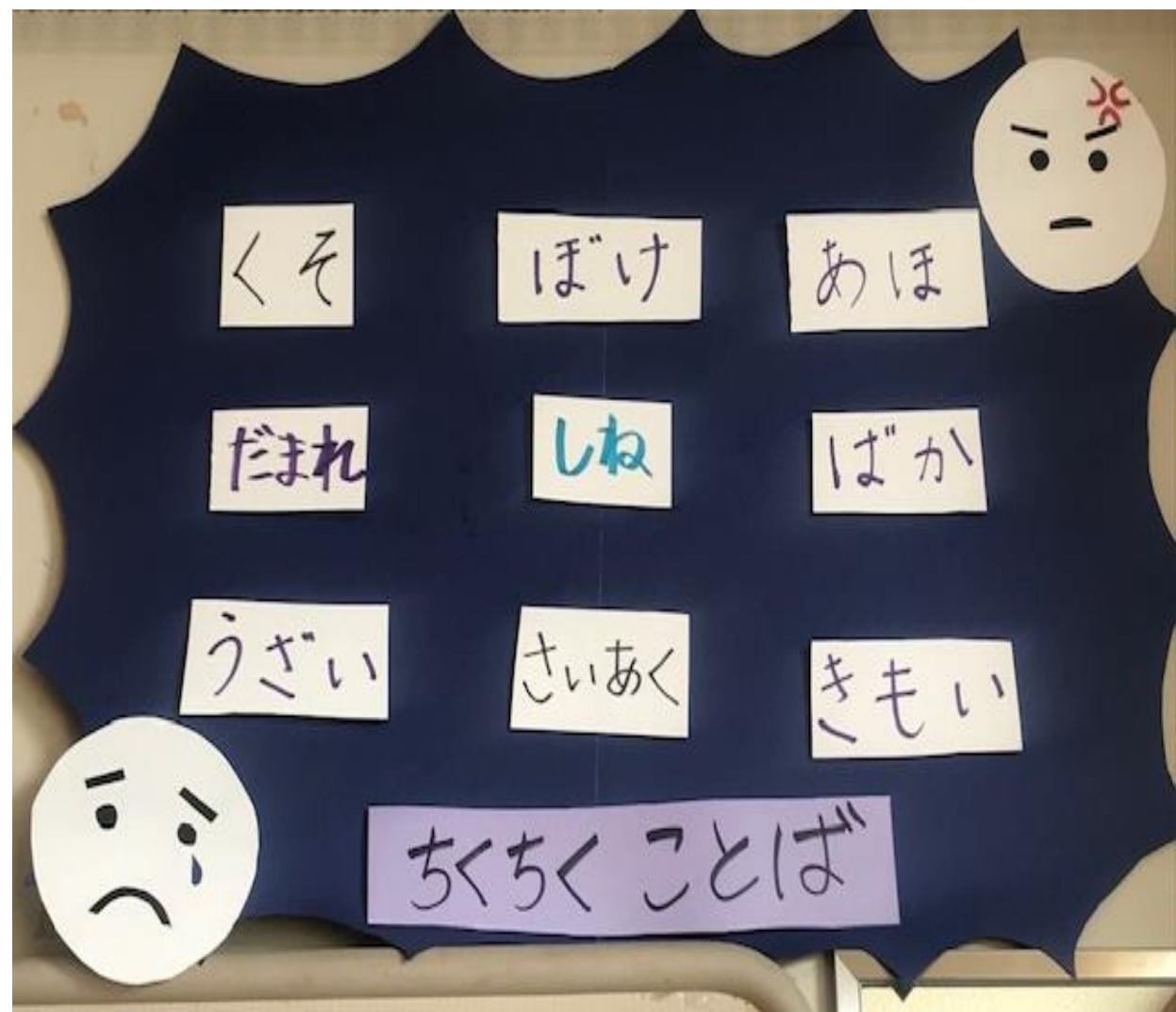
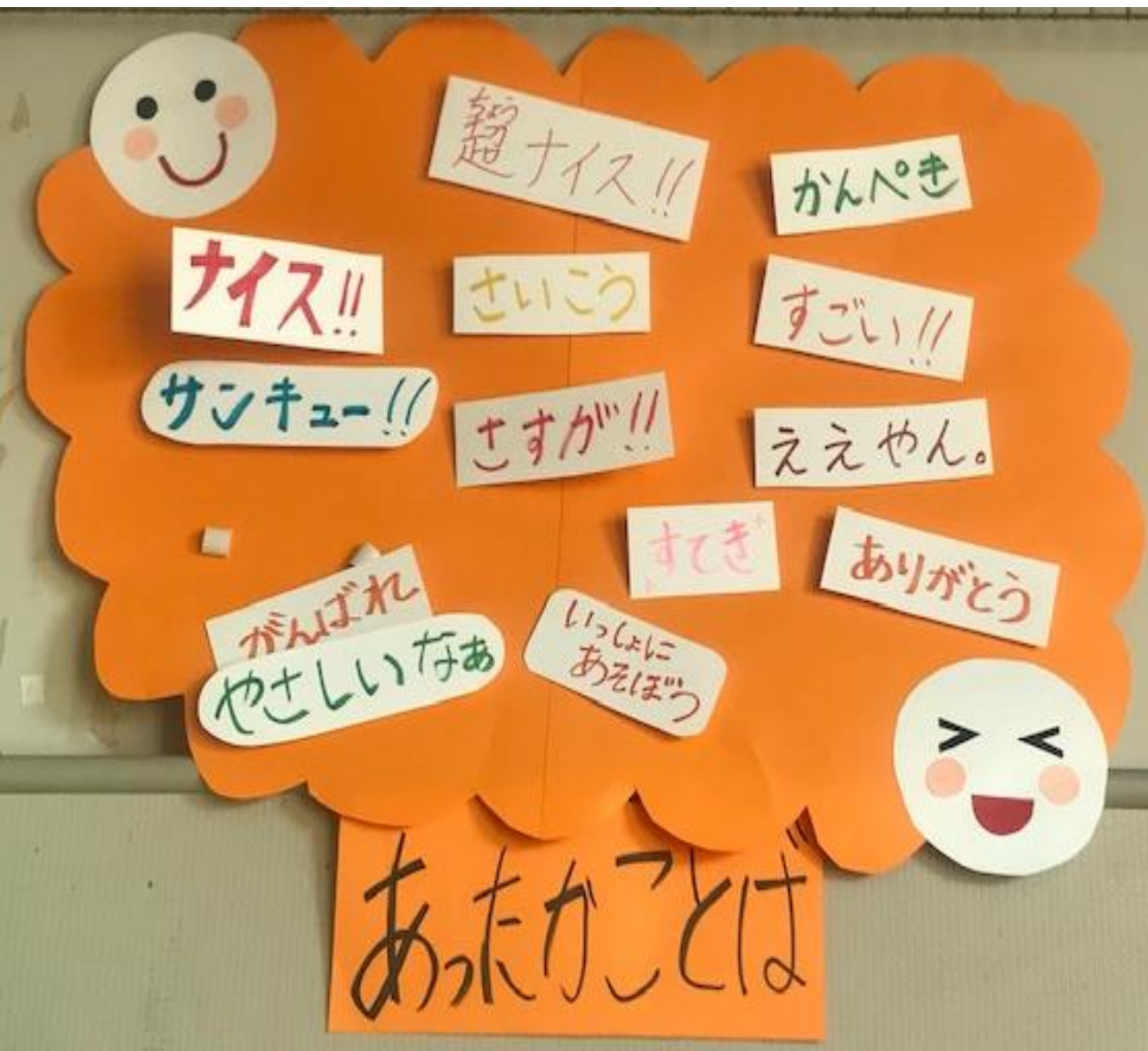
- ★視覚支援
- ★わかりやすいことば
- ★自分の感情に気付かせる
気持ちの代弁



あったかことば、ちくちくことば、感情のバロメーター

- ★参加しない活動を予測し、対応を考えておく（選択肢）
- ★本人が参加しやすい活動を入れ込む
（興味のあるもの、動画、動きのあるゲーム等）
- ★価値基準を増やす（多い少ない、できたできないではなく）
- ★成功体験を増やし自己肯定感を高める
失敗時は「こういうときもあるさ」
- ★うまくできたときにほめる、どこがよかったか具体的に伝える

チーム
共有



あたたかバロメーター



にこにこ



ほんわか



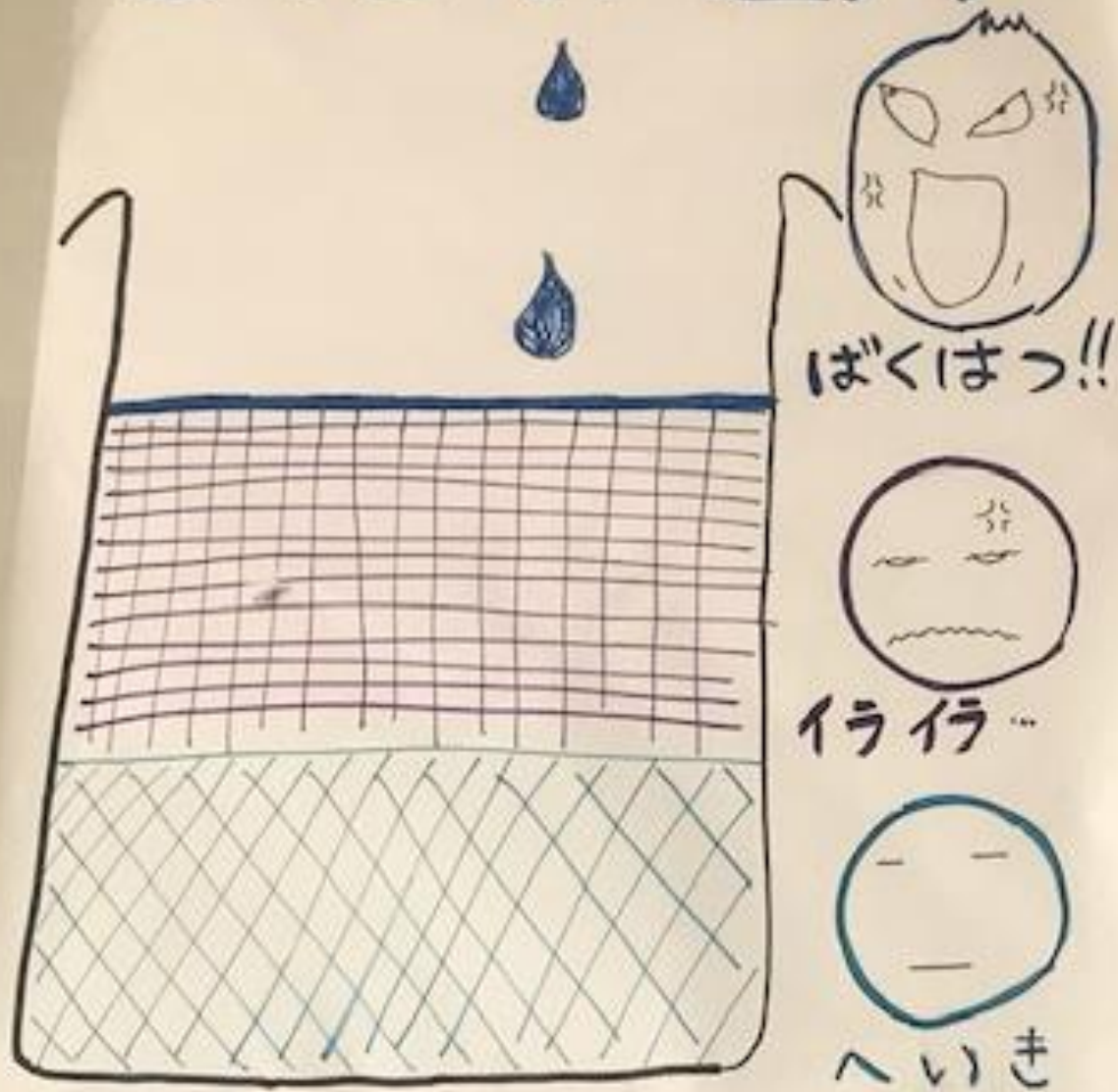
へいき

うれしいきもち!!

みんなに

ゆけてあげよう😊

ちくちくバロメータ-



おとなにたすけてもらおう

はくはつしちゃうまえに
しずかなところにいたり、
ちがうことをしたりして、
きぶんをかえてみよう!!

事例 4 : 卒業後の進路や福祉サービスについて情報提供

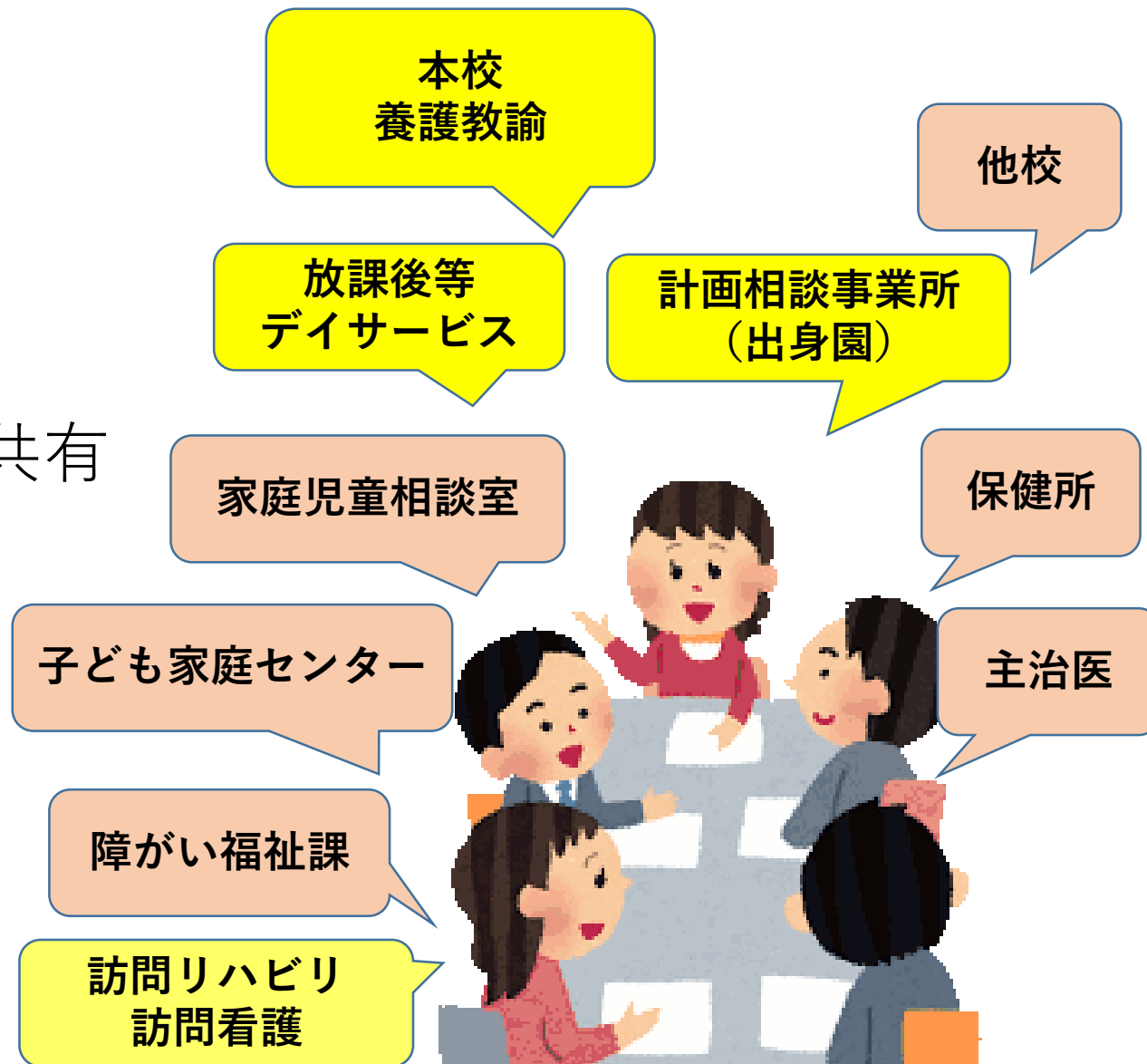
- 自立支援協議会の下部組織より依頼があり
就業生活支援センターがまとめ役
本校進路担当と事業所（障がい者）から
放課後等デイサービスに対して情報提供を行った

将来を見通せるように

事業所（障がい者）と放課後等デイサービスの連携がスタート

事例5：小学部

- ケース会議
 - * 健康管理（体重、けが等）
 - * 家庭や本人の状況を情報共有



事例 6 : 小学部

- ケース会議（保護者からの発信）
 - * 放課後等デイサービスでの効果的な取組みを共有
 - * 本児の状態



事例7：本校

- ・放課後等デイサービス事業所との連絡会（年度末）
*今年度約40事業所

<内容>

- ・デイサービス利用について（お願い）
- ・大規模災害時の緊急対応について
- ・個別の教育支援計画の活用について
（実態把握）
- ・質疑応答

